

「食品表示の全体像に関する報告書」骨子案

はじめに

第1 食品表示制度とそれを取り巻く環境

1. 現行の食品表示制度
2. 食品表示を取り巻く環境

第2 食品表示に対する消費者の意向と改善に向けて

1. 消費者から見た食品表示
 - (1) 消費者の意向の把握
 - (2) 消費者の食品表示に対する不満
 - ① 現行表示に対する不満
 - ② 改善に向けての意見
2. より良い食品表示に向けて
 - (1) 消費者に対して食品表示はどうあるべきか
 - (2) より良い食品表示とは

第3 食品表示を考える上で重要なこと

1. これまでに整理された主な見解
 - (1) 食品表示一元化検討会
 - (2) 食品のインターネット販売における情報提供の在り方懇談会
2. より良い食品表示を考える上での周辺情報
 - (1) 国際的な食品表示の動向
 - (2) ユニバーサルデザインの活用
 - (3) R F I Dの活用

第4 消費者に活用される食品表示とするために

1. 活用される食品表示とするための考え方
2. 分かりやすく活用される食品表示とするための前提条件
 - (1) 「分かりやすさ」の定義に向けた科学的アプローチに基づく調査
 - (2) ウェブを用いた食品表示を検討するための現状調査
3. 分かりやすく活用される食品表示とするための取組
 - (1) いわゆる一括表示の視認性向上
 - (2) ウェブを用いた食品表示の可能性
 - (3) 今後想定されるスケジュール

第5 誰一人取り残さないための将来的取組

- (1) 訪日・在日外国人に対する分かりやすさの改善
- (2) 視覚機能の弱い方への対応

おわりに